

よりよく生きる

道徳研究大会

11月25日（火）、広見中学校において、令和7年度愛媛県特色ある道徳教育推進事業推進校中間発表会が開催されました。この事業は、各県の小学校3校、中学校3校が選ばれ、道徳教育の研究を2年間行い、その成果を発表するものです。今年度は、1年目の中間発表でした。



午後から、1年1・5組（授業者：T1 福鹿巴音先生、T2 清水充智先生）、2年2組（授業者：T1 得能寛太先生、T2 岡田真輔先生）、3年2組の道徳の授業（T1 米田実樹先生、T2 井原嶺花先生）を、県内の先生方に見ていただきました。

その後、授業の研究協議を行い、体育館に移動して全体会（開会行事、研究発表、質疑応答、指導助言、閉会行事）を行い、中間発表は終了しました。

どの学年も、生徒たちが真剣に道徳的価値について向き合い、話し合い、議論し、高め合うことができました。生徒の皆さんには、普段から落ち着いた態度で学校生活を送り、友達を大切にし、そして何事にも一生懸命取り組むことができています。そんな日々の取組を通して、道徳的実践力は高まっています。今回は、日々の取組により培われた生徒のいつもの姿を見ていただくことができました。

この日の、各学年の道徳授業の内容につきましては、後日、道徳通信で紹介させていただきます。

中間発表会では、他校の先生方から、いろいろな感想（アドバイスや指導助言も含めて）をいただきました。その内容を一部紹介いたします。

- ・道徳の授業において、生徒たちが真剣に話し合う姿を見て、いつも落ち着いた雰囲気で、授業を大切にして臨んでいるのだなということが伺えた。
- ・話合い活動では、どのグループも友達の意見を大切にしながら、自分の意見を述べており、友達の意見を大切にできる心温かい生徒が多いということがよく分かった。
- ・学級担任の先生との人間関係が構築できており、生徒たちがよい表情で授業に参加していることが印象的だった。

この事業は、来年度も続いていきます。私たち教職員は、いろいろなアドバイスや指導助言を受けて、よりよい道徳教育の実践に向けて、更なる改善を図っていくという気持ちを新たにしました。こうした事業を進めていくには、正直、大変なことも多いです。その分、教職員は道徳の授業力向上を図るとてもよい機会ですし、生徒の皆さんはより道徳に関して考えを深めるよい機会になります。これからも、生徒とともに、道徳教育の充実に向けて、広見中学校全体で取り組んでいきたいと思います。保護者の皆様も、道徳教育の充実に向けて、いろいろなご意見を懇談会等でお聞かせください。